

議会だより つしま

No. 5

2019

8月

令和元年



私たちはこの笑顔を守ります

「赤米田植え体験」

- ★6月定例会あらし・委員会審査報告・・・2
- ★6月定例会一般質問・・・・・・・・・・・・3～6
- ★所管事務調査報告・・・・・・・・・・・・6
- ★委員会委員の新構成・・・・・・・・・・・・7
- ★ペーパーレス会議本格導入・編集後記・・・8

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会

〒817-1201 長崎県対馬市豊玉町仁位380番地

TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018

E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



6月定例会あらまし

6月定例会は、6月18日から6月28日までの11日間の会期で開かれました。今定例会では、令和元年度一般会計補正予算等25件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決となりました。

市政一般質問は、9人が登壇し、活発な議論が展開されました。

◎主な議案

- 専決処分の承認を求めることについて承認案8件
- 平成30年度対馬市一般会計継続費繰越計算書についてなど報告3件
- 令和元年度対馬市一般会計補正予算(第1号)など補正予算案4件
- 対馬市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例についてなど条例改正案4件
- 対馬市一般廃棄物最終処分場条例を廃止する条例案1件
- 対馬市森林環境譲与税活用基金条例など新規条例案2件
- その他議決案3件

委員会審査報告

議会において、提出された議案等を慎重に審査するため、所管の常任委員会に付託することができ、各委員会は、付託された議案等を詳しく審議し、議案等の可否を採決し、委員会としての意思を決定します。委員長は、審査報告書を議長に提出し、本会議において報告をします。今定例会においては次のとおり審査報告がされました。

■総務文教常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件(2件)

- ①令和元年度対馬市一般会計補正予算(第1号)
- ②新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について(陳情第4号)

◎審議内容

○本市では、過疎対策法により市道、農道、林道、漁港及び港湾等の基盤事業や観光施設等の整備、電気通信、集会施設、保育所、消防施設等のハード事業に活用しており、ソフト事業では、航路、航空路確保事業、保育料軽減事業、地場産品PRや観光、物産事業等に活用されています。新たな過疎法の制定は必要不可欠であるというこれらの陳情内容について、審査を行いました。

■厚生常任委員会

委員長 齋藤 久光

◎付託された案件(1件)

- ①令和元年度対馬市一般会計補正予算(第1号)

◎審議内容

○総務費、民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、プレミアム付商品券事業に係る予算、風疹の抗体検査に係る予防接種事業の予算等について、審査を行いました。

■産業建設常任委員会

委員長 大部 初幸

◎付託された案件(3件)

- ①令和元年度対馬市一般会計補正予算(第1号)

◎審議内容

- ②対馬市森林環境譲与税活用基金条例
- ③対馬市立博物館条例

○森林環境譲与税が都道府県・市町村に交付されることに伴い、本条例を制定するものです。○現在建設中の博物館の設置に関する必要な事項を定めるための条例について、審査を行いました。



審議の様子(写真は総務文教常任委員会)

一般質問 ここが聞きたい

6月定例会一般質問 9人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは

議員が議長の許可を得て、市長等に対し、市の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質し、報告や説明を求めるものです。

一般質問を行う場合は、通告書に要旨を記入し、事前に議長に提出します。

一般質問の時間は質問と答弁を合わせて50分以内としています。



小島 徳重議員

◆日本人観光客増による観光産業活性化について

(市長) ①国内への情報発信は福岡市、大阪市等、都市圏に絞り、SNS、メディア、旅行プランの販売、物産展の開催等で発信している。②対馬ファン・リピーターを増やす施策は、対馬の魅力である自然や歴史のコアなファンを獲得する事業を展開している。もう一泊したくなるメニューの開発も事業者と共に進めている。③修学旅行・滞在型研修等の誘客を県と共に推進する。域学連携事業も行う。④観光庁推奨の対馬版DMOの設立は、地域資源を活用するため、引き続き研究を進める。

(小島) 「しま旅」の実績が他の離島に比べ少ないことをどのように受け止めているか。

(市長) なぜ少ないか分析した。宿泊の予約が取りにくい。今後、対策を練る。

(小島) DMOは観光産業の活性化には欠かせない。設立を急ぐべきである。

◆近代化遺産の文化財指定と観光資源としての活用について

(教育長) ①文化財保護審議会近代化遺産調査研究部会から報告があった4カ所のうち地域、地権者から同意があった姫神山砲台跡を4月15日に市の文化財に指定した。②万関運河は、県のまちづくり景観遺産に指定された。文化財としての価値は詳しく調査するが、文化財としての指定の緊急性は低いと考える。

(市長) ①砲台群への観光客はまだ少ないが、観光資源としての可能性を秘めている。アクセス道路の整備を進めたい。②万関橋一带は、対馬市を代表する観光地。県と共にトイレ、駐車場等、一体的に整備を進める。

(小島) 対馬要塞遺産、景観、伝統食等を含めた「対馬遺産」を検討したらどうか。

(市長) 今後、勉強してみたい。



伊原 徹議員

◆本市の通学路の安全確保対策について

(伊原) 国道や県道等における登下校時の専用通学路が確保されていない区間がある。登下校時における児童の安全確保対策のための点検及び安全な通学路の具体的な計画と取り組みは。

(教育長) 日頃より学校単位で通学路の点検活動を行う中で、問題箇所の報告を受けて、直ちに警察・県・市で構成された対馬市通学路安全対策推進協議会が合同点検を実施した。例えば安全ポールなどを設置し、安心・安全な通学路の確保に取り組んでいる。

◆外国人受け入れに伴う専門部署の創設について

(伊原) 観光地のトイレ利用や神社仏閣における一部の外国人観光客へのマナーに対しての啓発活動として、外国語が堪能な職員配置を含む専門部署の創設の考えは。

(市長) 現在、韓国語が堪能な職員を観光交流商工部に配置し、本年度も韓国語修得者枠の採用試験を実施することとしている。また、外国人観光客の対応専門部署の創設については今のところ予定はない。

(伊原) 介護現場や農林漁業・商工業など、少子化による生産人口減少による市内事業者の働き手世代不足が深刻となっている。日本語学校誘致を含む、外国人材の受け入れのための相談窓口として、専門部署創設の考えは。

(市長) 本市の基幹産業でもある農林水産業の人材不足は極めて深刻と受け止めている。過去に、外国資本による日本語学校開設の申し入れがあり、開設予定地域で説明会を実施したが、理解が得られず、その学校は断念した経緯がある。このこともあり、外国人材の受け入れ相談の窓口を含めた専門部署の創設については、今のところ考えていない。



瀧上 清議員

◆日韓親善交流の促進策について

(瀧上) 朝鮮通信使復元船来島の対応策は、この8月は急々策として現在の計画でよしとするが、来年度以降の瀬戸内海の各寄港地を經由して大阪までの再現事業には、対馬藩の先導船を復元する等を国の事業として取り組むべきだ。

(市長) 国へお願いする方向で担当部署がどこになるか研究してみたい。

(瀧上) 対馬からの交流促進策として訳官使船遭難者慰霊祭の開催や徳恵姫墓参団の派遣等の事業を提案する。

(市長) 未だ市民の認知度が不足気味なので、先ずは啓発事業を展開してから検討したい。

◆厳原市内の河川道路の整備について

(瀧上) 対馬の玄関口に位置する川端通りの景観は、澄み切った水面に映える柳並木が自然豊かな島の象徴のはずだが、水の流れも柳並木も往時の面影はない。柳並木の管理をしつかりと行い、先人たちが残してくれた阿須川上流から厳原本川に清流を導入する貴重な施設の源泉混々の再生・活用を図るべきだ。

(市長) 柳並木は、補植や枝打ちの適正管理を行い、源泉混々は施設の総点検を行い、川端通りの再生を図りたい。

(瀧上) 国道382号及び横町線の整備計画については、国道はおよそ用地も解決しているようだが、その完成が待たれている。横町線も郵便局の用地部分を残すだけだが、今後の工程完成時期についてその詳細をお知らせください。

(市長) 国道382号の中村・宮谷工区は整備中で、用地交渉中の土地があり、早期完成をお願いしていく。横町線の郵便局用地は交渉中であ令和3年度末完成を予定している。



吉見 優子議員

◆市民が多目的に使える憩いの場としての施設を開設できないか。

(吉見) 旧いづはら病院施設内に市民の健康保持と市民相互の交流を図る拠点とした施設を開設出来ないか。

(市長) 平成28年旧いづはら病院改修基本計画を策定し、療養型温泉施設の開設の可能性について検討を行ったが、更に、市民皆様のニーズや多くの市民に使用していただける施設として検討してもらうために「旧対馬いづはら病院施設利活用検討委員会」を設置し、昨年9月に提言書をいただいた。内容は「市民活動の活性化や健康づくり活動、防災関連施設等幅広い活用について検討を行い、有効な活用を目指すべきである」、「社会情勢の変化及び施設の老朽化による維持管理費用等将来の財政負担を踏まえ、施設の大規模改修については、慎重な検討が望まれる」との提言であり、今後は、議員ご指摘の地域の方々に集まっていただけの仕組みづくりや、目的を持つて利用される方々のネットワーク作りなど地域のニーズに合わせた施設の有効利用を進めていきたい。

(吉見) 結論を含め、一日も早い、早期着工、早期完成を期待します。

◆ケーブルテレビの放映のあり方について

(吉見) 去る4月7日の県議選放映について、何故あのような放映になったのか。

(市長) 指定管理協定上、県議選は生中継の対象となっていないことから、会場の雰囲気伝えるため、開票風景を背景に文字テロップを乗せ、4分間の映像を繰り返し放送したとのことである。

(吉見) CATVの番組表、放映の充実について。

(市長) 定期的に取材、撮影が出来るものは、一週間先まで届けるのは可能であるが、一つしまる通信で放送する地域の出来事などはホットなニュースとして届ける必要がある。撮影から放映まで日数が足りないため、対応が難しい状況もある。引き続き番組表の充実を努めていただくよう指示している。

(吉見) CATVを新設した目標は「対馬市の出来事を対馬市民が共有するため」となっている。主役は対馬市民。巨額な税金を投じて作った、対馬市のCATVです。初心に返って放映のあり方を真剣に考えるべき。



春田 新一議員

◆安全、安心、安定したまちづくりについて

(春田) ①市道堂坂線の交通安全整備で路側帯に白線を引くことはできないか。幅員も狭くまた力1ブの多い道路と考えると不安な箇所が多く運転がしづらい状況である。白線を引くことはできないか。②地方港湾比田勝港、網代地区防波堤の新設と避難港の安全対策防風ネットの設置はできないか。干満の差があり満潮時には道路面すれすれまで潮が来る状況で風が吹き波が立てば道路に海水が上ると聞いています。安全で安心した集落の形成を保つためにも、地域の産業を支え続けられる港作りについてお伺いします。避難港として整備される防波堤に防風ネットの設置はできないかお伺いします。③地方港湾、古里地区に外来船用係留施設建設の今後の見通しについて、外来船係留施設の係留施設と合わせて護岸整備をお願いいたします。漁業施設の適切な整備で安全安心の港作りの今後の見通しについてお尋ねします。

(市長) ①観光客の増に伴い大型バスも通行しており、また、峠付近は霧も発生する状況で走りづらい道路と認識している。交通安全の観点から進めていきたい。②県管理の港湾であるので地区の意見を聞き、管理者と協議していきたい。

◆市立小中学校の管理職住宅の整備について

(春田) 教員住宅、特に管理職住宅の安心安全の確保は出来ているか。老朽化している教員住宅が市内に多く目につきます。学校現場の先生達には安全で安心した住宅でなければ子ども達の教育にも力が入らないと思います。管理職住宅の確保や住宅の整備についてお尋ねします。

(教育長) 管理職の職務上、原則学校の近くに管理職住宅を設け、毎年修繕料を計上し、維持補修に努めている。また、老朽化し居住できない教職員住宅については、解体・撤去を進めていきたい。



長郷 泰二議員

◆災害防止対策について
 (長郷) 近年、本市においても多くの河川が氾濫し多大な被害をもたらしています。市及び県の河川管理についてお尋ねします。まず堆積土砂の撤

去等の考え方は。

(市長) 地区からの要望により該当地区と協議のうえ対応をしている。

(長郷) 豊玉町仁位の長田川は過去に氾濫し被害を受けています。今後の改良計画についてお尋ねします。

(市長) 現地調査を行い部分的にでも改良に着手できるよう進めていきたい。また、水害の原因となっている橋については設置者と協議し撤去の方向で着手していきたい。

(長郷) AED設置の基準と管理について

(市長) AEDの設置基準は、普及推進計画に定め配置を行っている。設置基準に基づき設置されたAEDは、市で一括管理を行っているが、その他の団体等で設置されたAEDについては各団体が管理が行われている。市では、緊急時にAEDの有効活用が出来るよう機器の適正配置、管理等に努めていきたい。

◆公共工事に対する考えについて

(長郷) 繰り越し事業が多くありますが原因と対策についてお尋ねします。代表的なもので、小中学校の空調設備工事の完成用途は。

(市長) 事業の繰り越しを余儀なくされる原因の一つとして、技術職員不足は否定できない。今後も改善できるよう努力していきたい。また、設置が遅れている小中学校の空調設備は本年12月末までの設置予定としている。

(長郷) 仁位貝鮎線は早期完成が必要な路線です、今後いかがお考えでしょうか。

(市長) 希望に沿うよう努力していきたい。



坂本 充弘議員

◆水道事業について
 (坂本) 総配水量と有収水量の差は。古い水道管からの漏水量は。交換工事の距離と計画は。

(市長) 平成30年度の総配水量は446万3千立

方、市民が使用した有収水量は319万9千立方、71.68%。差は126万4千立方、消火栓等で使用した無収水量12万2千立方を引いた114万2千立方、約25%が漏水している。古い水道管からの漏水量については、法定耐用年数を経過した水道管だと思いが、経過年数が違う水道管が混在しているため把握は困難。水道管の総延長は、導水管、送水管、配水管を合わせて627キロ、うち法定耐用年数40年を経過している水道管は120キロ、全体の19%。交換に係る経費は、1キロ当たり約3千5百万円で耐用年数を経過した全てを交換すると約42億円が必要。令和元年度は、上対馬町の中央地区及び三根地区簡易水道基幹改良事業約6キロメートルを予定。経過年数・有収率等を勘案し、中期的計画を立て補助事業により施工している。

◆輸送コスト助成事業について

(坂本) 漁協の生産高が低下している。輸送コスト助成事業の助成率増加の考えは。

(市長) 平成25年度から事業を開始し、平成29年度より特定有人国境離島地域社会維持推進交付金に移行、海路及び空路の輸送助成を行っている。

鮮魚、活魚等の移出及び冷凍飼料の移入に対し、国が10分の6、県が10分の1、市が10分の1、計10分の8の助成をしている。平成30年度は、漁協法人、個人事業者等29の事業者が対象。今年度より離島活性化交付金により水産加工品の原料移入及び加工した魚介類の移出も国が10分の6、市が10分の2、計10分の8の助成を新たに計画している。現段階では高補助率となっているので難しいが、今後の市場と動向を見ながら検討していきたい。



大浦 孝司議員

◆CATVの管理について
 (大浦) 過去に議員全員協議会において説明があった平成20年から10年間の経営計画について、当

初から2年間は全区間ケーブルが繋がらないこと、敵原テレビ組合との協議が成立していないことの理由で、20年から21年は、テレビ利用料を半額の500円の徴収とし、合計2億7千万円の赤字でスタートしたが問題はなかったのか。

(市長) 利用料金の500円については、公募の要件としていたため特に問題はない。

(大浦) 機器各種のリースについて、平成28年、平成29年を、随意契約を含み指定管理者と締結しているが、前回の答弁では、地方自治法施行令に則り、現在管理している各種サービスに対して障害が発生した場合のことを考慮したとの事であった。全国の自治体の事例を調べると、機器のリースは指名競争入札となっている。新規納入に伴う初期化・データ移行の作業については、管理している技術者及び納入する機器の技術者と十分協議のうえ人件費の計上を行うこととある。現在のあり方は、決算資料等を含め、全体が見えないことから、これらの件について、住民監査請求等を行う方針として今後の対応とする。





波田 政和議員

◆定住人口対策について

(波田) 有人国境離島法の施行により航路運賃や空路運賃の低廉化はしたものの離島格差をなくすためには日用品の輸送コストの低廉化を図る必要がある。また市民一人一人が自分の目的や利便性によって運送会社を選択できる仕組づくりができないか。

(市長) 現在は、市民を対象とした航路・航空路の運賃引き下げを実施しているが、日用品等の物流に関しては、知恵を絞って、実現に向けて、国・県へ働きかけながら努力していきたい。

◆仮厳原本庁舎の耐震診断について

(波田) 厳原本庁舎耐震診断の結果報告について何らかの形で市民の皆様へ報告をしていたいただきたいとお願ひしていましたがどうなっているか。また、その結果次第では迅速な対応をお願ひしたい。

(市長) 現在の厳原本庁舎は、新耐震基準の指標を下回っており、耐震補強が必要であることから、その整備費用も含め、様々な課題の分析と整理を行い、議会の意見も聞きながら、市民参画の検討委員会等の設置についても早急に検討していきたい。

9月定例会のお知らせ

令和元年第3回定例会は、9月11日(水)に開催を予定しています。

※日程は、9月6日に開催される議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

所管事務調査報告

常任委員会では、条例案その他議案の立案のためや問題点のある事務の改善を究明するため自主的にテーマを設定し、調査を行うことができます。調査結果については、報告書を議長に提出し、本会議において報告します。今定例会においては次のとおり調査報告がされました。

産業建設常任委員会

委員長 大部 初幸

当委員会は、国県市道の整備状況に関する調査研究を目的に所管事務調査を行いました。整備計画及び進捗状況についての説明を受けた後、委員からは一般国道382号の緒方～大船越区間については用地買収を地道に進めていくか、あるいはルート変更も含めて改良が進められる方向を県と検討していただきたい。

厳原豆殿美津島線の上棚～椎根区間については費用対効果の問題もあり、改良も休止状態であるが、地元の市民にとっては生活や産業、通学等の道路であるので市道の改良も含めて県とよく協議をしていただきたい。

また、将来構想の中で下対馬を周遊できるように道路づくりを今後の計画の中に生かしてもらいたい。

厳原市街地の中村工区～宮谷工区については、用地買収もお寺を除いてほぼ終わっているが長く放置状況なので、もう少し整備を急いでもらうよう県への申し入れをお願いしたい。

市道堂坂線は、多くの観光バスも通行している



担当部局から説明を受ける産業建設常任委員

状況なので、県と連携し予算獲得をお願いしたい。小船越～畠浦口区間も入会林の整備を進め、早急に改良を進めていただきたい。
美津島の加志～箕形区間については、大型車輛も多く通行している。着工できる所からでも早急な改良を進めてほしい。
昼ヶ浦線は、面天奈から昼ヶ浦地区まで地元とよく協議し進めていただきたい。
国県市道の未改良区間は、市民生活や産業振興、観光振興の面からも重要である。国や県、関係団体と検討され、有人国境離島法も生かし、整備を急ぐよう提案しました。

委員会委員の新構成

委員の任期に伴い、各委員会の新しい構成が決まりました。

令和元年6月28日調製

委員会	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	坂本 充弘	小田 昭人	黒田 昭雄	山本 輝昭	齋藤 久光
			初村 久藏		
厚生常任委員会	伊原 徹	小島 徳重	春田 新一	吉見 優子	上野 洋次郎
産業建設常任委員会	長郷 泰二	大浦 孝司	瀧上 清	波田 政和	大部 初幸
			作元 義文		
議会運営委員会	春田 新一	瀧上 清	坂本 充弘	伊原 徹	長郷 泰二
			黒田 昭雄	齋藤 久光	

令和元年6月28日調製

特別委員会	委員長	副委員長	委員		
国境離島活性化 推進特別委員会	作元 義文	瀧上 清	小島 徳重	小田 昭人	山本 輝昭
			初村 久藏	上野 洋次郎	

令和元年6月28日調製

特別委員会	委員長	副委員長	委員	
議会広報編集 特別委員会	小島 徳重	黒田 昭雄	坂本 充弘	大浦 孝司



定例会・委員会でペーパーレス会議本格導入

平成30年9月定例会から、タブレット端末機を使った議会が始まり、これまでは、議案等の紙ベースの資料とタブレットを併用していましたが、今回の6月定例会から完全ペーパーレス会議に移行しました。

議員においては、これまでのタブレット操作に十分慣れてきたことで、大きなトラブルもなく定例会に臨みました。



また、予算等の付託審査における常任委員会でもペーパーレス会議を実施し、スムーズな委員会審査を行っています。

なお、本会議における一般質問では、写真及び資料等のデータによる閲覧を、議員と市長部局がタブレットで確認することで、情報の共有を図りながら、質疑、答弁を行いました。



令和元年 議会の動き（予定）

8月20日	長崎県市議会議員研修会（長崎市）	議員出席
9月上旬	議会運営委員会	議長及び委員出席
9月11日～9月下旬	9月定例会（豊玉庁舎3階議場）	全議員出席
10月上旬	決算審査特別委員会（豊玉庁舎3階議場）	全議員出席（議長を除く）
10月～11月	議会報告会（市内3会場）	全議員出席
12月上旬～中旬	12月定例会（豊玉庁舎3階議場）	全議員出席

編集後記

議員任期が2年経過し、折り返し点を迎え、常任委員会、特別委員会の構成員が変更になりました。議会広報編集特別委員会も再任2人、新任2人で再スタートしました。

昨年度、9年ぶりに議会だよりを発行しましたが、試行錯誤の連続でした。各出稿者が特に考慮したのは、膨大な質疑内容や報告事項等を限定された文字数で、いかに凝縮して表現するかでした。市政一般質問を例にあげると、50分（1万5千字程度）の質疑・答弁を、6百字程度で正確に記載することは難作業です。本特別委員会では、出稿者の文章の個性を生かしつつ、文体や表現に統一感を持たせることに時間を割きました。

読みやすさ、分かりやすさには、まだ課題があります。市民の皆さんの声をいただきながら、事務局・印刷会社と力を合わせ、より良い「議会だより」づくりを目指します。今後とも御愛読をよろしくお願いたします。

（文責…小島徳重）



議会広報編集特別委員会

【委員長】小島 徳重 【副委員長】黒田 昭雄
【委員】坂本 充弘・大浦 孝司